

光ブロードバンドサービスが始まります

多久市では、市内産業の活性化と、地域間の情報通信格差の解消に向けて、4月に光ブロー



▶調印締結後、協定書を持って握手する田中支店長（右）と横尾市長

ドバンドを提供する事業者の公募を行い、6月19日に西日本電信電話株式会社佐賀支店と協定を締結しました。

横尾市長は「企業や市民から要望が有り、ようやく実現できた。通信の利便性向上の他に、企業誘致や定住促進にも期待できる」とあいさつ。田中光二支店長は「長年のノウハウと60を超える自治体との実績を活かし、市民の方へのサービス充実・発

光ブロードバンドサービスとは

上り下りともに最大概ね100Mbpsの高速通信で、快適にインターネットができるサービスです。光電話や映像サービスなどもあります。

展につながれば」と話しました。

平成26年2月末までに、主に北多久町と東多久町の工業団地および人口集中エリアを中心にサービスが開始されます。詳細なエリア、サービス開始時期は、正式に決定次第お知らせします。

■問い合わせ

総合政策課 電子自治体係
☎75-2114

田代愷さん(北多久町)佐賀県高齢者美術展

工芸部門で県議長賞を受賞

平成25年度佐賀県高齢者美術展の工芸部門で、田代愷さん(北多久町)が佐賀県議会議長賞を受賞されました。



▲庄巻の作品と講評を受けた『六観音立像』

田代さんは、趣味で水彩画やアクリル画、油絵などの絵画、観音像や仏像をはじめとした工芸品など数千点を制作されています。手近な素材を使って製作する、緻密で繊細な工芸品は一体約3か月の期間を要して制作されています。



▲数千点におよぶ緻密な作品の数々

今回受賞された『六観音立像』は、仏のやさしい表情で、見る人に穏かな気持ちになってもうえたらという思いが込められています。

市長コラム

温故創新

Message for citizen

改革推進へのアクセラ

市長 横尾俊彦

5年前の市報7月号コラムで「TVタックル」出演を紹介しました。当時は地方分権改革推進委員として白熱議論の最中でした。大改革の決意を固めた安倍晋三総理大臣による任命で、総理官邸での首相挨拶の気迫は忘れられません。分権担当大臣だった現在の菅官房長官の強い熱意も鮮明に記憶しています。「出される改革案は全て実行する」。お二人の強いメッセージでした。

そこから始まった流れが続いています。地方と国の役割分担、新時代の政治行政の創造というテーマは一大改革です。当時は九州市長会が先んじて議論していた道州制議論も最近出てきました。

国内外に課題があるうとも、日本の新たな躍進への舵取りに全力を注ぐ姿勢が今日の安倍政権の高支持率を支えているようです。そんな時流のもと、県市町村など自治体も改革改善が肝心です。

マイナンバー法も成立しました。共通番号を活用した行政サービス刷新が可能になります。必要なサービスを必要な人に、正確迅速に提供できる改革が肝心です。このことについても全国市長会「共通番号制度等に関する検討会」座長として政府へ提案を続けました。その意味では法案成立に感慨もあります。これからが肝心です。政治も行政も未来へ向け知恵を発揮すべき時代です。

7月は参議院選挙の予定です。必ず投票に行ってください。国づくり・政策づくりに重要な意思表示でもあります。7月19日は戦後民主主義到来の日とのこと。政治充実の7月にしましょう。